

厚生労働省北海道労働局発表
平成28年11月24日

【担当】
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
副主任安全専門官 菅 清
電話：011-709-2311（内3552）
FAX：011-756-0056

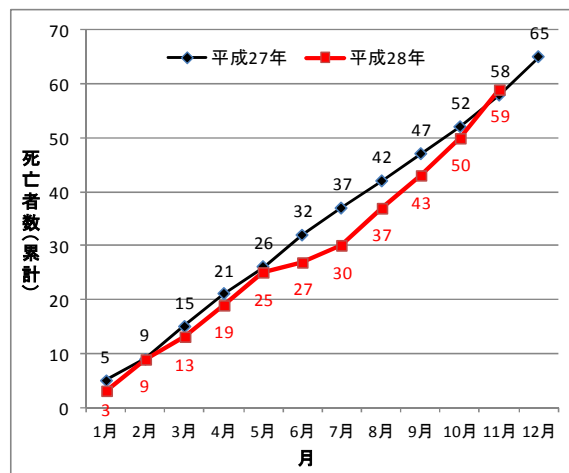
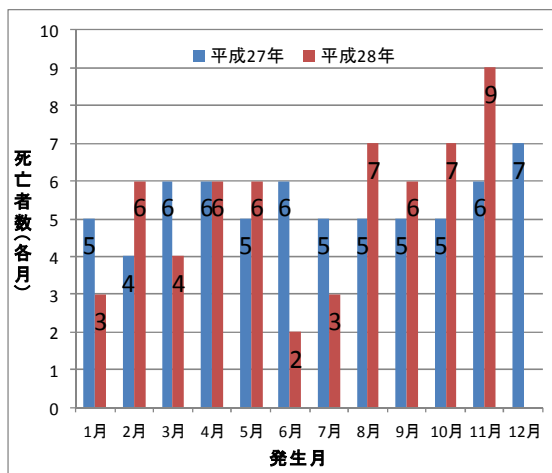
安全衛生関係団体等に取り組総点検の実施を緊急要請 － 11月に死亡労働災害が多発－

北海道労働局（局長 たなか としあき 田中 敏章）では、11月に死亡労働災害が多発している現状を踏まえ、安全衛生関係団体等にこれまでの取組について総点検の実施を緊急要請しました。（資料1参照）

北海道内の平成28年10月末日現在の死亡者数は46人と、前年同期に比べ6人減少（1.5%減少）しており、また、休業4日以上の死傷者数は4,698人と、前年同期に比べ64人減少（1.3%減少）していましたが、降雪期である11月に入り、主要業種において死亡労働災害が多発している状況となり、今後、年末に向けての生産・建設工事・物流等の活発化の影響のほか、冬季特有の労働災害の増加が懸念されます。

このことから、年末に向けての死亡労働災害防止及び第12次労働災害防止計画の最終年である平成29年を迎えるに当たり、安全衛生関係団体に対して、これまでの取組について総点検を実施し、より一層取組が推進されるよう緊急に要請を行いました。

また、建設業については、緊急に建設工事発注機関との連絡協議会を開催し、建設工事追い込み期における死亡労働災害防止に向け一層の連携強化を図ることとしています。（別途、プレスリリースいたします。）



※1 各表の平成28年11月の死亡者数は、11月21日現在の死亡者数です。

※2 10月末現在の速報値では46人でしたが、11月に10月末までに発生した死亡災害の4人が追加され、10月末の死亡者数が50人となっています。